

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年4月9日	記入者		連絡先	2782
平成18年度部名	経済部	課名	働く人支援課	課長名	鈴木 敏弘
平成19年度部名	経済部	課名	働く人支援課	課長名	鈴木 敏弘
事務事業名	ニート・フリーター就労支援事業				
予算上の事務事業名	ニート・フリーター就労支援事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			23240	
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第2節 安心して暮らせるまちづくり				
施策名	第4施策 勤労者対策の推進				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等					
3 個別計画の概要					
計画名	概要				
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	研修・講座	▼	5 事業開始年度	平成18年度	▼
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
ニート・フリーターと呼ばれる若者は、就労の不安定化や親への依存の長期化など、社会的自立の遅れが新たな課題となっている。若者が就職し、社会の一員として自立した生活を送ることができるよう総合的な支援策を実施する。			不安定な就労状況にある若年者及びその親、小学生等		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
親のための就職支援塾					
・内容 子どもの就労の実現を図ることを目的として、講義、参加型講習会(ワークショップ)及び個別の就職支援相談を実施。					
・対象者 子どもの就職で悩んでいる親等 ・実施状況 4回実施 参加者 43人					
子どものための職業観体験塾					
・内容 職業観・勤労観を培うことを目的として、講義、参加型講習会(ワークショップ)及び会社見学を実施。					
・対象者 小学4～6年生 ・実施状況 3回実施 参加者 79人					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
市教育委員会 さがみはら中学生職場体験支援事業(キャリア・スタート・ウィーク)					
8 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	0	0	1,896	4,732	4,732
一般財源	0	0	1,896	4,732	4,732
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	0	2,366	3,154	3,154
事業コスト合計	0	0	4,262	7,886	7,886
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	親のための就職支援塾			対象名称 と単位	講座数(回)
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	0	0	1,352	1,352	1,352
対象数	0	0	4	3	3
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	338,000	450,667	450,667
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.33	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	参加者数（人）	指標式と指標の説明	参加者数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	43.0		
目標	0.0	0.0	120.0	60.0	60.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	35.8		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	若年者本人の就職相談等に至った者の割合（％）	指標式と指標の説明	就職相談等に至った者（子）の数 / 講座参加者（親）の数 * 100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	32.6		
目標	0.0	0.0	33.3	35.0	37.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	97.9		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実			雇用情勢は全般的には改善しつつあるが、ニート、フリーター等就労に困難を抱える若年者及びその家族に係る課題については、依然として解決していない。このため、こうした方々への支援をさらに充実することが必要である。
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
ニート、フリーター等就労に困難を抱える若年者及びその家族に対する支援については、歴史も浅く様々な取り組みがなされている状況にあるが、本市における取り組み事例の積み重ねや先進事例等を参考にし、より効果的な事業のあり方を確立していきたい。			就労以前の課題を抱える若年者への支援については、全庁的な連携、役割分担による事業展開が必要である。また、キャリア教育については、教育現場での取り組みが広がってきているが、地域との連携を図るための支援が求められている。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			